

山にのぼって、広葉樹林や針葉樹林へはいり、林の外側と内部の枝のつきかたや葉のしげりかたを観察し、それぞれの樹冠についても比較してみよう。図-18

広葉樹（ブナ）では、樹冠は、まるみがあり、こんもりとしています。

外側の木は、下枝がよく茂り、外側へ枝が長く張っています。

内部の木では、下枝が枯れてなくなり、高いところで枝が短く張っています。

針葉樹（アオモリトドマツ）では、樹冠はスギと同じで、円錐形をしています。

外側の木と内部の木の比較はだいたい広葉樹の場合と同じような違いがみられます。



図-17 一本立ちのスギ

このように、林の内部では一般に下枝が枯れてなくなっています。それは、日光がほとんど下まで通らないので、下枝では、光合成ができず、葉は必要性がなくなって枯れてしまうのです。

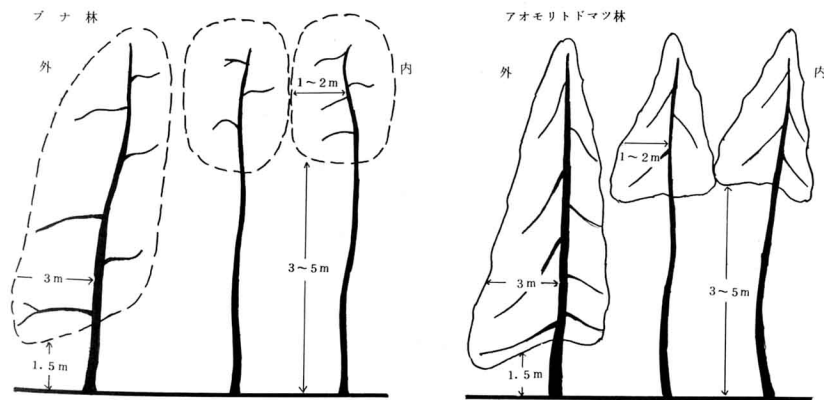


図-18 森林の樹形のスケッチ例